

保護者の皆様へ

福山市保健福祉局ネウボラ推進部

**腸管出血性大腸菌感染症(O26, O157, O111など)について**

**【腸管出血性大腸菌感染症ってどんな病気なの?】**

- 感染経路：
  - ・腸管出血性大腸菌に汚染された食品(生肉や野菜など)や水などを摂取した場合。
  - ・菌のついたものを触った手指などから菌が口に入る場合。
- 潜伏期間：4～8日
- 症 状：腹痛・下痢・血便  
無症状の場合もあるが、溶血性尿毒症候群(HUS)\* や脳症をなど発症することもある。

\* 溶血性尿毒症候群(HUS)とは・・・

尿量の減少、血尿、蛋白尿などをおこす状態で、意識障害や神経症状などを伴う。  
子どもや高齢者におこりやすい。

**【家庭で気をつけることは?】**

- 普段からせっけん手洗いをしましょう。  
特に排泄(おむつ交換)の後・食事の前・外から帰った時には忘れずに。  
せっけんをよく泡立てて、流水で30秒以上手洗いをしましょう。
- 肉を生で食べることは控え、加熱は十分にしましょう。飲用と確認されていない生水は飲まないようにしましょう。
- 保育所等から持ち帰ったハンカチやタオルは必ず洗濯し、よく乾かしたものを持参するようにしましょう。



**★★ お願い ★★**

- 下痢・腹痛などの症状がある場合は早めに受診しましょう。
- 腸管出血性大腸菌感染症と診断された場合は、内服や登所(園)の目安を医師に確認し、保育所等へ伝えてください。